

くまむら

# 議会だより

2015.10.26

80号



10月4日 球磨村民体育祭が、総合運動公園で開催されました。  
(写真は、1,500m決勝での、1分会と2分会の先頭争い)

## 目次

9月の定例会	2~3
決算審査特別委員会報告	4~5
一般質問	6~11
相良三十三観音霊場第五番札所鶴口観音	12

球磨村世帯数 1,538世帯  
人口 3,999人 男：1,892人 女：2,107人  
(平成27年10月1日現在)

# 太陽光発電システムに4,675万円

## 役場庁舎と神瀬福祉センター

### 「たかおと」に



第5回9月定例会は、9月7日から18日までの12日間の日程で開催され、平成26年度財政健全化判断比率の報告、平成26年度一般会計及び各特別会計の決算認定5件、条例改正2件、平成27年度一般会計及び各特別会計の補正予算4件、財産処分、工事請負契約の変更、「安全保障関連2法案」の慎重審議を求める意見書案の15議案を初日に上程しました。

決算認定は、昨年に引き続き決算特別委員会を設置し委員会での質疑と審査を実施しました。一般質問では、6人が登壇し、各種施策や行政課題について執行部の考えを質しました。

最終日、18日には、議会会議規則の改正等2件、追加上程の選任同意2件、当初上程の一般会計補正予算の撤回に伴う再提出の一般会計補正予算を含む全議案を審議し、それぞれの議案を認定、可決、同意しました。また、自治法による選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙も行いました。

初日の7日には、6月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、また、人吉球磨広域行政組合議会の報告を行いました。

議案では、まず財政健全化法により財政の健全性を判断する比率について、柳詰村長から報告があり、平成26年度の財政健全化判断比率及び資

金不足比率、いずれの比率も基準を下回っていました。

次に、平成26年度球磨村一般会計及び特別会計4件の決算認定の上程後、豊永征介代表監査委員から決算審査結果の報告がありました。

続いて、財産処分関係1件、条例関係2件、平成27年度の一般会計及び各特別会計

の補正予算関係4件、工事請負契約の変更1件、議員発議案として、「安全保障関連2法案」の慎重審議を求める意見書案1件、合計15議案を上程しました。「安全保障関連2法案」の慎重審議を求める意見書については、この日の内に採決が行われ、全会一致で

可決。意見書は、国会等関係者に提出しました。

11日と17日には、一般質問を行い、田代議員、多武議員、小川議員、舟戸議員、嶽本議員、高澤議員がそれぞれ登壇し、執行部の考えを質しました。（詳細は6ページ、11ページに掲載）

#### 決算審査特別委員会

平成26年度の決算認定では、全議員を委員とする決算審査特別委員会を設置し、付託された全決算の認定を決定しました。（詳細は、4ページに掲載）

#### 再提案を含む全議案を審議・可決

最終日の18日には、平成26年度球磨村一般会計決算及び特別会計5件の決算について、田代委員長が決算特別委員会の結果を報告、賛成多数によりいずれも認定しました。

財産の処分については、村有林の伐採等を森林組合に委託する事業。全会一致で可決しました。

条例関係では、個人識別の番号利用等に関する法律（番号法）が施行され、村の個人情報保護条例の一部を改正し、特定個人情報情報の適正な取扱い等を定めるものです。

また、村の手数料条例改正も番号法の施行、住民基本台帳法の改正に伴うもので、原案のとおり可決しました。

補正予算関係では、初日に上程した平成27年度一般会計補正予算で内容の一部撤回により、再提出された平成27年

度の一般会計並びに国民健康保険、介護保険及び簡易水道の各特別会計の補正予算を原案のとおり可決しました。

一般会計の主なものは、役場庁舎と神瀬福祉センターたかおとに蓄電池を備えた太陽光発電システムの設置計画に伴う委託料と工事請負費で46,754千円など、合計169,894千円を追加、歳入歳出総額3,614,933千円となりました。

工事請負契約は、役場庁舎裏山の急傾斜地対策工事において、施工数量の減による契約額の変更に伴い議会の議決を求めたもので、原案のとおり可決しました。

議会議規則の改正は、議員が出産の場合、欠席の届け出を新たに規定するもの、また、議会傍聴規則の改正は、議会傍聴の際に持ち込み禁止の「つえ」を削除するもので、いずれも原案のとおり可決しました。

## 人事関係

村の特別職である教育委員会委員及び監査委員について、任期満了に伴う選任同意を追加上程し、次の方を全会一致で選任同意しました。

### ・教育委員会委員

大岩幸吉さん

(大岩地区)

### ・監査委員

豊永征介さん

(山口地区)

## 選挙管理委員会委員の選挙

委員の任期満了に伴い、地方自治法の規定に基づき議会で指名推薦による選挙を行い次の方を当選人と定めました。

### ・委員

西 仁吾さん (水篠地区)

今村茂喜さん (島田地区)

柳詰 明さん (柳詰地区)

伊高 寛さん (伊高瀬地区)

## 平成27年9月定例会 議案等の審査結果

番号	件名	審議結果
報告第3号	平成26年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について	報告
認定第1号	平成26年度球磨村一般会計決算の認定について	原案認定
認定第2号	平成26年度球磨村国民健康保険特別会計決算の認定について	原案認定
認定第3号	平成26年度球磨村後期高齢者医療特別会計決算の認定について	原案認定
認定第4号	平成26年度球磨村介護保険特別会計決算の認定について	原案認定
認定第5号	平成26年度球磨村簡易水道特別会計決算の認定について	原案認定
議案第29号	財産処分について	原案可決
議案第30号	球磨村個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第31号	球磨村手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第32号	平成27年度球磨村一般会計補正予算について	撤回
議案第33号	平成27年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第34号	平成27年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第35号	平成27年度球磨村簡易水道特別会計補正予算について	原案可決
議案第36号	工事請負契約の変更について	原案可決
議案第37号	平成27年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決
発議第2号	「安全保障関連2法案」の慎重審議を求める意見書案	原案可決
発議第3号	球磨村議会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
発議第4号	球磨村議会傍聴規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
同意第2号	球磨村教育委員会委員の選任同意について	原案同意
同意第3号	球磨村監査委員の選任同意について	原案同意

# 平成26年度決算を認定しました 決算審査特別委員会を設置

平成26年度の一般会計や特別会計をより詳しく審査するため、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。委員長に田代利一委員、副委員長に多武義治委員を選出し、9月8日から9日までの2日間、執行部より提出された決算書並びに関係資料と各担当課の説明を求めながら審査を実施しました。

なお、決算特別委員会でまとめた主な意見は次のとおりです。

## 総務課では

- ① 村が運営するコミュニティバスについては、利用客の状況に応じて便数などの検討を行い、費用対効果を高めるとともに更なる利用促進につなげていただきたい。
- ② 地区担当職員制度については、災害などへの迅速な対応が可能となるよう、地域に根差した担当職員の配置と組織体制の更なる検討を願う。
- ③ 住宅使用料や情報通信料については、不納欠損とならないよう万全の措置を願う。

## 税務課では

- ① 不納欠損の事務処理について、十分な調査と対応策の検討を願う。また徴収の可能性がある場合は、特に分納誓約書といった、あらゆる対策をとってもらうなど、税の公平負担を基本に考えて頂きたい。

## 企画振興課では

- ① 美しい村づくりに関する施策について、雇用、景観整備などメリットも大きいですが、税の有効な使い方として、美しい村づくりの将来性をどのように広げていくのか、住民への更なる周知を図って頂きたい。
- ② 「一勝地温泉かわせみ」の指定管理料として支払われている委託料については、基金を財源とされているが、財政運営と基金目的の両面から今後とも十分な検討を願う。また、村からの経費支出については、内容の十分な把握及び取りまとめを願う。

## 住民福祉課では

- ① 保育料の収納未済金については、滞納者へ納付の働きかけを引き続き実施されるとともに、今後とも適正な事務執行に努めて頂きたい。

## 健康衛生課では

- ① 村民の方が特定健診を受け、次に再検を受けられているが、このことが、国保負担の軽減に繋がるということを住民へ、十分に周知され、理解を頂くよう願う。

## 産業振興課では

- ① 有害獣駆除隊の目的は達成できているが、再度、事業創設の意義を関係者において共有いただき、特産品の開発や所得向上という面においてもしっかりと施策の展開を願う。

## 建設課では

- ① 住民に最も身近な道路、公共施設の維持、補修については、迅速な対応をお願いします。また、自然災害発生時の復旧対策として、住民へのきめ細かな支援体制の拡充を引き続き進めて頂きたい。

## 教員委員会では

- ① 公民館の活動や青年団など、社会活動団体に対しては、団体における実情の検討や将来性などに配慮された支援を願う。
- ② アフタースクール制度については、地域住民への周知を願う。

## 会計課では

- ① 村が出資している各団体の経営状況の把握に努めて頂きたい。また、公金管理についても引き続き万全を期していただくとともに現代の状況に合った運用を願う。



次世代を担う子ども達

# 平成26年度 決算状況



今年も賑わった敬老会

## 特別会計

### ■国民健康保険

歳入 ..... 625,573千円  
歳出 ..... 592,682千円

### ■後期高齢者医療

歳入 ..... 52,597千円  
歳出 ..... 52,542千円

### ■介護保険

歳入 ..... 702,898千円  
歳出 ..... 687,164千円

### ■簡易水道

歳入 ..... 88,657千円  
歳出 ..... 80,665千円



## 一般会計歳入

村 税	246,246千円
地方譲与税	34,985千円
地方消費税交付金 他	45,013千円
地方交付税	1,964,804千円
分担金及び負担金	25,005千円
使用料及び手数料	31,482千円
国庫支出金	303,137千円
県支出金	312,186千円
財産収入	108,571千円
寄付金	553千円
繰入金	418,244千円
繰越金	141,916千円
諸収入	46,313千円
村 債	227,375千円

計 3,905,830千円

## 一般会計歳出

議会費	59,543千円
総務費	860,114千円
民生費	820,309千円
衛生費	251,861千円
農林水産業費	385,674千円
商工費	16,333千円
土木費	301,321千円
消防費	120,737千円
教育費	223,381千円
災害復旧費	5,381千円
公債費	412,033千円
諸支出費	0千円
予備費	2,181千円

計 3,458,868千円



国名勝に指定された熊野座神社

# 村長2期目の挑戦は

**【答】村政は継続性が必要 引き続き担わせていただきたい**

## 田代 利一 議員

1. 地域座談会について
2. フードバレーこれまでの取り組み
3. 村長選挙2期目への挑戦は

### 田代議員

多様化する村民のニーズに対応した村づくりには、村民と行政の連携が必要だ。直接村民の声を聞く場が必要ではないかと6月議会で質問し、8月に村内5ヶ所で地域座談会を実施された。座談会の内容と出席者数はどうだったのか。

### 柳詰村長

座談会の進め方として、施政方針で掲げる7つの具体的な取り組みや、地方創生に関わる事業の策定状況を説明し、全般的な質問を受けた。参加者からの意見は、過疎化への振興の取り組み、コミュニティ機能の弱体化への対策、農林業の担い手不足への支援、有害獣の農林産物への被害対策など、本村が抱える多くの意見をいただいた。

### 宮本総務課長

出席者数は、神瀬地区41人、三ヶ浦地区32人、一勝地区41人、渡地区50人、高沢地区26人

の合計190人であった。

### 田代議員

参加者が少ないような感じだった。広報にも載せてあったが、見ていない人も多かったのではないかと。参加者がまったくいない地区もあったようだ。防災無線での周知はしたのか。

### 宮本総務課長

防災無線でも、4日間にわたり計7回放送している。

### 田代議員

一勝地区では、まったく聞かなかったという人が多かったようだが。

### 宮本総務課長

全村にわたって放送したので、一勝地の人にも当然聞こえていたはずだ。

### 田代議員

区長文書などでも周知してほしかった。

### 宮本総務課長

今後は検討する。

### 田代議員

地区担当職員も来ていたが、住民の方も自分の地区の担当が誰か、まだ知らない人もいたが。

### 宮本総務課長

このような機会に触れて紹介していきたい。

### 田代議員

参加者から、多くの意見が出たと思うが、そのことについては、執行部と議会が一緒になって考

えていかなければならないと思っているが。

### 宮本総務課長

村民の方が、必要性をもって発言されたものと思う。生活に密着しているので、検討を重ねていきたい。

### 田代議員

次に、県知事2期目の一つの目標として県フードバレー構想が計画された。県南地域に力を入れていく姿勢が見え、このチャンス



地域座談会（一勝地区）

逃さず、積極的に活用することで、村の振興につなげればと考えているが。

### 柳詰村長

本村では、6次産業化を推進することから、条例を制定し運用している。現在では、農産加工グループ「あじさい」が村内の農産物を利用して加工した商品を販売している。

### 田代議員

「あじさい」が活動している施設をもう少し拡大し、タケノコなどを含めた6次産業化を推進できないものか。

### 柳詰村長

事業をするには、財源も必要になってくる。その見きわめも重要である。6次産業化の推進には、大変なエネルギーが必要だと思っている。

### 田代議員

次に、村長2期目の挑戦について、6月議会では、家族との話し合いや、後援会への相談もしていないとのことだった。任期も残すところ半年となったが、2期目の挑戦は。

### 柳詰村長

村政は、継続性が必要と思っている。計画に沿って、村政を進めていくためにも引き続き担わせていただきたいと思っている。

# 道路への落石に我慢の限界を超えているとの声があるが

【答】抜本的な対策が必要と感じている

## 多武 義治議員

1. 地方創生に関わる事業の内容は
2. 落石対策について
3. テレビ、インターネット使用料の滞納への対応

## 多武議員

地方創生の大きな目的は、各自自治体で地域に合った仕事をつくり出し、地方の急激な人口減少に歯止めをかける狙いがある。そこで、球磨村の地方創生に関わる今後5年間の事業の策定状況を伺う。

## 柳詰村長

10月下旬には、事業の内容を公表する予定だ。その取り組み内容は、球磨村の資源を生かした仕事づくりや、移住定住のための住環境の整備、若い世代への切れ目のない支援や買い物支援事業に取り組むことにしている。

## 多武議員

村の約9割が森林で、昭和40年代前半まで林業は活気があった。しかし、燃料が木材から石油へ変わった40年代後半から林業は低迷し、現在に至っている。先人が植えた人工林が1万ヘクタールを超え、資源は十分にある。私は、球磨村の

地方創生の基本は森林の再生である

と思っている。そのためには何をやるか。大きく4つあると思っている。まず、再生に必要な人員の確保、具体的には、間伐により森林整備をやる中で人が足りない状況になる。そこで、村独自の事業で林業従事者育成をやったらどうか。2つ目は、森林所得者が間伐すれば儲かるシステム作りが必要だ。間伐材の搬出経費に補助を上乗せしたらどうか。また、切り捨て間伐は所有者負担を賄ってやるとよいと思う。3つ目は、シカ被害対策に力を入れること。4つ目は、林業分野に専門的な知識を持った人を雇用することも重要と思っているが。

## 柳詰村長

私は、林業従事者を育成するためには、給料を上げることが重要と思う。また、林業の専門職については、可能と思うので検討したい。

## 多武議員

次に、シカやイノシシが原因と思われる道路への落石も多く見られる、住民からは我慢の限界を超えているとの声も聞かれる。村道などへの落石対策はどうなっているのか。

## 柳詰村長

近年、雨が降らなくて

も、シカなどによる落石があり、その都度、除去している。これからは、山林内も含めた抜本的な対策も必要と感じている。

## 多武議員

特に、村が管理する道路で、頻繁に通行があるところでは、楮木く川島間や、中園く岡間の村道がひどい状況だ。その他にも、村道神瀬大岩線の日当入口付近、馬場地区から人吉方面へ国道に出るまで、大概く境目間も落石が見られ、よく調査し対応していただきたい。

また、国名勝に指定された熊野座神社入口付近は、周りが村有地でもあるので、早急な対策をお願いします。

## 大坂間建設課長

熊野座神社は、国名勝にも指定されたので、景観に配慮した工法で考える。

## 多武議員

次に、村で運営する、テレビ、インターネット使用料の滞納問題について、平成23年に運用を開始し、5年が経過しようとしている。滞納の多くの原因が、役場の事務的な遅れの問題であることから、再

三、早く解決するよう申し入れてきた。時効がせまる中、今後の対応はどうするのか。

## 柳詰村長

平成26年度末で、テレビが171件、インターネットが7件の口座未登録で引き落としができない状況だが、11月まで解決できるように努めている。滞納の原因が庁内の事務的な遅れであり、現状を深く認識し、反省を踏まえて、利用者に説明を行い、ご理解いただきながら処理したい。

## 多武議員

先ほど、来年の村長選に出たいとのことだったが、ぜひ、この問題を解決して出ていただきたい。



落石注意！熊野座神社入口付近

# 座談会での多様な意見、要望に対する反映は

〔答〕喫緊の課題は、スピード感を持って対応する

- 小川 俊治 議員**
1. 施政方針について
  2. まち、ひと、しごと創生について
  3. 台風災害について

**小川議員** 村長1期目の村政座談会で、村民から直接生の声を聴かれての感想は。

**柳詰村長** 活発な意見交換ができたことは、村民皆さんの前向きな姿勢と村政に対する期待を実感した。

**小川議員** 座談会で村政7つの施策について報告がされたが、村長自身の評価は。

**柳詰村長** 前村長からの引き継ぎ課題は大方達成できた。掲げる施策については、おおむねできつつあると思う。

**小川議員** 座談会での多様な意見、要望に対する施策への反映について伺う。

**柳詰村長** 村が抱える課題について、深刻な状況もあり、喫緊の課題については、スピード感を持って対応しなければならぬと痛感した。

本年度予算の範囲内で取り組める事業は、直ちに進めたい。国や県に要望するものもあり、協議しながら予算化できるものから順次取り組む。

**小川議員** 施策について、よく見えないとの村民の声があるが、村民からの意見要望の対応について伺う。

**柳詰村長** 口頭、文書による意見要望があるが、随時答えている。

**小川議員** 次に、ひと、まち、しごと創生のアンケート調査について、結果後の分析や施策に反映されたのか伺う。

**柳詰村長** 課題や問題点が見えてきた。収入の向上が定住、出産率に影響する可能性が大である。子育て支援策はおおむね効果が高い。また観光業の重点化が不可欠。若年層の農業への関心を高める必要性。住宅対策が必要。地域の利便性を生かした買入れも支援が必要。調査の結果を踏まえた施策に反映し、将来にわたって、活力ある球磨村のため努力する。

**小川議員** アンケートの自由回答の中には、「私的に意見が言える活

性化委員会があれば手を挙げたい」との声があるが、広く村民に意見を聞く、住民参加型の取り組みができないか伺う。

**柳詰村長** どのような種類の場なのか見当がつかないが、検討したい。

**小川議員** 次に、台風15号の被害状況と今後の対策について伺う。

**柳詰村長** 村内被災状況の情報収集、村内道路の被災状況と消防団による倒木除去、生活道路の通行確保、要援護者、高齢者世帯の安否確認及び被害状況の把握、三ヶ浦簡易水道の停電によるポンプアップの対応、教育施設の被害及び始業式の延期の対応、農林被害状況の確認を行った。

**小川議員** 予測困難な面もあるが、事前の整備箇所もあったのではないかと。それが、倒木による道路の寸断、停電の要因となっている。

**宮本総務課長** 一例だが道路沿いの大木化した木は伐採するなど事前対



地域座談会（渡地区）

策の準備を検討したい。

**小川議員** 長期間の停電で高齢者の不安があったと思うが、避難所の開設の考えはあるのか。また、避難所に発電機の整備は必要ではないのか伺う。

**宮本総務課長** 避難所については被害の状況も考え、生活に支障をきたすことがあれば村の責任として対応をしたい。必要最小限の発電機を備えることは防災上必要なことであり、今後、予算化を図り必要なものは整備する。



# 村長2期目の挑戦、ビジョンは

〔答〕将来の方向性を決める重要な年、村政は継続性が必要

## 舟戸 治生 議員

### 1. 村民の幸福づくり

**舟戸議員** 認知症になっても安心して暮らせる体制の構築、地域づくりをめざしておられるが、村の認知症の実態と取り組みについて伺う。

**柳詰村長** 平成26年に介護認定された住宅の認知症高齢者は、自立度5段階にもよるが、157名。早期診断、早期対応が極めて重要で、住み慣れた地域で暮せるよう協力体制が必要だ。

**舟戸議員** 徘徊対象となる人に対する行政と家族、地域の連携については。

**板崎住民福祉課長** 地域見守りネットワーク事業では、徘徊される認知症高齢者の安全を保持するため、地域住民、介護サービス事業所、警察、消防署等が日常の業務の中で高齢者を見守り、地域での生活を支援することを目的としており、家族から申請等に対して徘徊ルートを調査し、見守り体制を地域に依頼して

る。認知症サポーターは平成26年までに402名を要請。今後は、認知症初期集中支援チームの設置、地域包括支援センターに認知症地域支援員を配置し、施策を推進する。

**舟戸議員** 若年認知症の方の就労継続支援事業についての対応を伺う。

**板崎住民福祉課長** 認知症に関する相談窓口等、わかりやすく周知したい。

**舟戸議員** 学校での認知症サポーター養成講座の標準的な内容を伺う。

**瓜生教育課長** 住民福祉課職員が基礎知識を学んだうえで、劇にしたりしながらわかりやすく説明している。

**舟戸議員** 次に、児童生徒の給食での食物アレルギーの実態について伺う。

**柳詰村長** 平成27年3月に学校給食における食物アレルギー対応の指針に基づき、食物アレルギーの原因食物の除去、代替食で対応している。

**舟戸議員** アレルギーに対応した給食の献立、調理。配膳の仕方については。

**瓜生教育課長** 保護者と学校、給食調理場の栄養士、教育委員会との面

談で、アレルギー食物の除去、または代替食の献立を示し確認している。調理、配膳は専用の鍋で行い、保護者との定期的な面談も行っている。

**舟戸議員** 児童生徒の緊急時に対する対応について伺う。

**瓜生教育課長** あつてはならないことだが、アナフィラキシーショック時の対応として、学校での緊急対策体系で対処する。

**舟戸議員** 次に、道路の白の側線等が薄くなっている箇所があるが、道路管理者として状況把握されているのか。

**柳詰村長** 舗装が傷み修繕工事を全面的に行う場合は白線も引き直す。舗装がある程度しっかりしているところでは白線が薄いところについては速やかに対応したい。

**舟戸議員** 村内道路で、早急に改修、補修が必要な所はどれだけあるのか。また、改修、補修の基準を伺う。

**大坂間建設課長** 村道で、要点検が74カ所、要協議が75カ所。改修、補修の基準は、傷み具合、通行の頻度、緊

急性の高い順に進めている。  
**舟戸議員** 既存池での養魚、休耕田を利用した新設の養魚場への補助はできないか。

**柳詰村長** 既存の施設について、補助事業に採択されないか今後検討する。休耕地での新たな事業について補助メニューはないが検討したい。  
**舟戸議員** 村長2期目の挑戦。ビジョンを伺う。

**柳詰村長** まち、ひと、しごと創生総合戦略策定に伴う新型交付金が支給対象となる中、今年、来年と本村の将来の方向性を決める重要な年と認識している。村政は継続性が必要、支援をお願いする。



薄くなってきた道路の白線

# 今回の台風で地区担当職員の対応はどうだった

〔答〕対応が遅れたことは今後の課題

**嶽本 孝司議員**

1. 災害対策について
2. 村発注の工事について

**嶽本議員**

災害対策として、ハード面では、ダムによらない治水対策が急がれている。また、ソフト面では、タイムライン検討会が進行中である。そこで、本村の災害対応で防災無線の機能に問題はないか。また、難聴地区はないか伺う。

**宮本総務課長**

村内の全地域について難聴の地区はないということ、把握している。

**嶽本議員**

ハザードマップの作成と、その運用状況を伺う。

**宮本総務課長**

渡地区では、防災避難訓練を実施した経緯がある。さらに詳しく村内にわたって詳細を記録できるように、準備を進めているところだ。今年中には、防災マップの新しい改訂版について作成する段取りになっている。

**嶽本議員**

化石燃料を少なくするLEDの外灯導入に際し、共助のむら

づくりの補助対象から外された理由を伺う。

**宮本総務課長**

共助の村づくりの要綱の中で、LEDは備品という考え方になるので、該当しない。地区の取り組み内容次第では、対応できることがある。

**嶽本議員**

26年度において、公営住宅長寿命化計画策定業務委託が実施されたが、その内容と今後の取り組みについて伺う。

**柳詰村長**

村営住宅の進捗状況は、若い世代が誇りを持てる村づくりの施策の一環として、今年度は神瀬地区に定住促進住宅の建設を予定している。7月に建築設計、監理業務委託の入札を行っている。その後、8月に造成工事を行い、工期を8月から11月下旬までとし、現在施工中である。造成工事完了後は速やかに村営住宅建築工事を発注する。

**嶽本議員**

次に、安心・安全な村づくりで村長が迂回路について前向きであるが、設置しても行き先の表示が重要だと思うので、表示板もお願いしたい。

**柳詰村長**

道路網の整備という事で林道事業で、今、開設をさせていたでている。

**嶽本議員**

ライフラインの確保で、今回独居老人の見回りをされたか、食事などコミュニティのあり方について、どう村で対応されたか伺う。

**板崎住民福祉課長**

球磨村災害時要援護者支援計画があり、現在、137名登録されている。その方に関しては、連絡がとれるところは、民生委員にお願いして、安否確認を行っている。

**嶽本議員**

今回の台風で、地区担当職員の対応、行動について、どうだったか伺う。

**宮本総務課長**

地区担当職員においては、区長、班長、消防団の関係者と連絡をとりながら、対応をとらせていた。いろいろ遅れたことについては、今後の課題として、対応していく。



台風による20ヘクタールの風倒木（大瀬地区）



# 避難場所として機能を果たさなかった事実があるが

## 答 発電機を含め備蓄品等随時進めていく

**高澤 康成 議員**

### 1. 災害対策について

**高澤議員** 今回の台風15号による影響で球磨村において甚大な被害となった。これまでも幾度となく災害に見舞われ、その度に議会から被害状況や今後の対策など議論されてきたと思う。災害を通じて検証・反省・対策を講じていくことが、住みよい・安心な村・災害に強い村となることだと思う。災害において役場機能が喪失した場合・災害弱者への支援・避難場所の機能・ハザードマップ・消防団の役割・救急搬送における迅速対応・ライフライン喪失時の対応等、検証する必要があると考える。今回の災害における対策・支援についてや、自助・共助・公助の考え方・球磨村防災計画における対応について村長の考えを伺う。

**柳詰村長**

最近、地域防災力の強化の為に自主防災組織が問われている。住民の生命、身体及び財産を災

害から守る事は、行政上最も重要な

施策の一つと考えている。また、自分の身を自分の努力によって守る自助とともに、普段から顔を合わせている地域や近隣の人達が集まって互いに協力し合いながら防災活動に組織的に取り組む共助が必要と考える。公助の支援として、活動への支援、発電機や投光機など機器類の支援は重要な事と考えている。

**宮本総務課長**

救急搬送等、可能な限り迂回路を確保する事は、日頃より検討している。

**高澤議員**

今回の災害における避難指示等、本部長なりに適正であったか伺う。

**柳詰村長**

台風の時は、休みをとって大阪に行っていた。予防避難をしようかという事で連絡をとり8月24日の6時に避難を呼び掛けしたところだ。

**内布副村長**

避難所も開設をし、台風の状況等を見ながら次の対応すべく、村長といつでも連絡がとれる状態だったので、情報を寄せながら、

体制をとるべく待機をしていた。

**高澤議員**

農産物被害に対する行政支援は。

**永椎産業振興課長**

資金借入時の利子補給をする時を決めた。期間は一応3年を基本にしている。

**高澤議員**

災害避難場所として機能を果たさなかった事実がある、村として今後どのような対応をしていくのか。

**柳詰村長**

避難所に対し発電機も含め備蓄品等、随時進めていく。

**高澤議員**

今回ライフラインが確保されず、情報を得る事が出来なかった。球磨村総合エネルギー計画・球磨村地球温暖化実行計画の中に、本村は毎年のように豪雨災害に見舞われる地域、河川の氾濫や内水の氾濫、土砂災害により集落が孤立してしまう可能性があり、災害時でも安定供給できるシステムを構築していく必要があると書いてある。



台風による土砂崩れ（松野地区）

その中で小水力発電がうたわれており、2020年度までに一機導入目標を掲げている。これに蓄電器を備える事によって解消するのでは。

**柳詰村長**

小水力発電は先送りしている状況であり、全体を見比べてやっつけなければならぬと思っ



# 相良三十三観音 霊場第五番札所鶴口観音

文化庁が平成27年度から創設した日本遺産の認定を受けた相良三十三観音めぐりの中の一つ、第五番札所が鶴口観音です。相良三十三観音は、人吉藩家老井口氏により藩内に選定されたもので、各札所は地域住民の精神的な拠り所として信仰を集めています。

鶴口観音堂は、渡と三ヶ浦を結ぶ相良橋を渡り、大無田方面へ約50メートル進み、右手の急な石段を登った山腹に銀杏や松の大き木に囲まれて鎮座します。

堂は、木造瓦葺きで、間口、奥行とも約3メートル、東北東向きに建っています。

本尊は木造十一面観音菩薩立像、彫眼・金箔塗・輪光背をいただいています。脇の木造毘沙門天像は、台座の上の天邪鬼を踏みつけ、3ヶ所に炎をあしらった輪光を背に、左手に宝塔、右手にさんさげきを持ち、いかめしく立っています。木造不動明王像は、火炎光背をいただき岩座の上に立っています。水難防止、交通安全に霊験あらたかな観音様として崇められています。



眼下に球磨川 眺めも素晴らしい鶴口観音

観音堂の管理は、鶴口区の堂役（4軒1組で1年交代の輪番制）が当たっています。堂役は毎月堂の清掃や花の取り換えを行うほか、旧暦6月18日の観音まつりには、接待役を務めます。

また、春秋の彼岸にはのぼりを立て、江戸時代から続く巡礼参拝者に接待の茶立てをするのも堂役の役目です。皆さんも今回、日本遺産の認定を受けました鶴口観音堂を訪れてみませんか。

鶴口班長 原 和彦

## 編集後記

8月に九州に上陸した台風15号により、球磨村も甚大な被害を受けた。

倒木や電柱の倒壊、電線の断線による停電、道路封鎖といった村民にとって、ライフラインに大きな影響が出た。さらに収穫期を迎えた農作物にも、多大な被害が発生した。

我家も梨農家であるが、無残な姿に涙も出ないくらい、あ然とした。

春先の長雨による着果不良、そして今回の台風、自然災害の恐ろしさを実感した。

今後、災害のない球磨村と願うところである。

(犬童 勝則)

- 広報委員長 多武 義治
- 広報副委員長 犬童 勝則
- 広報委員 小川 俊治
- 広報委員 高澤 康成